

7-9 班家庭科／五大栄養素ラーメン

教科・場面

五大栄養素の学習で、「五大栄養素のうた」(自作)と併せて活用。

授業・実践のねらい

家庭科の食生活分野において、五大栄養素の知識は特に重要であることから、生徒たちが興味・関心を持って学べるようにと作成した。

対象の児童・生徒

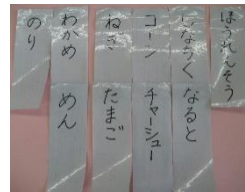
- ・ 中学部 7-9 班 (8名)

【B 類型】

学習到達度スコア 72以上

・ 家庭科の授業では、中学校の教科書も使用している。教科書の音読では、読めない漢字があるときにも、教師が読み方を指導すれば、根気よく読み続けることができる。作品制作や調理実習にも、意欲的に取り組む姿勢がみられる生徒たちである。

教材・教具



工夫したところ

麺はテープ、わかめはセロハン、ねぎはストロー等、実物と似通った立体物となるように制作した。用語カードは裏面にマグネットをつけ、黒板に貼れるようにしている。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

＜初回授業＞

生徒たちに麺を入れたどんぶりを配り、「自分の食べたいラーメンを作ってみよう！」と、自由に具を入れさせる。できたところで、一人ずつ発表させる。

併せて「五大栄養素のうた」(自作)を毎回歌い、五大栄養素の名称を確実に覚えられるようにする。

＜2回目以降の授業＞

栄養素の学習とリンクさせる。例えばたんぱく質の学習であれば、教科書で知識を学んだ後、「このラーメンの具で、たんぱく質を多く含むものはどれかな？」と発問し、答えさせる。

また「なると」や「しなちく」等、原材料のわかりにくいものについても生徒とともに考え、学ぶことができた。

授業・実践を通じた児童生徒の変容

多くの生徒はラーメンが好物であり、初回授業で「自分の食べたいラーメンを作ってみよう！」と声かけすると、みんなで競って具を奪い合うようにして取り組んでいた。次回からの授業でも、食材を実感しながら栄養素について学ぶことができた。